

< 新規就農者の確保又は認定農業者の育成を目標としている事例 >

研修宿泊施設の整備による担い手の育成確保

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>てしおくんとよとみちよう</small> 天塩郡 <small>とよとみちく</small> 豊富町 豊富地区			
協定面積 11,550ha	田	畑	草地(100%) 牧草	採草放牧地
交付金額 17,324万円	個人配分			47%
	共同取組活動 (53%)	集落の管理体制		3%
		農業生産活動等		21%
協定参加者	農業者 195人、第3セクター 1			29%

2. 取組に至る経緯

当集落においては、一戸当たり乳牛飼養頭数は増加しているものの、地域農業の担い手不足や高齢化により、農家戸数の減少が進行しており、離農農地の引き受け手の不足、個別経営による耕作面積拡大の限界、環境保全に配慮した農業経営の継続に支障をきたしかねない状況にある。この状況を改善する為、集落ぐるみで農業生産活動の体制を整備に取り組むこととした。

3. 取組の内容

本集落における農業生産環境は、排水不良な泥炭土壌に加え、著しく低い年間積算温度のため、牧草以外の生育が困難であり、かつその収量も低いことから、他地域に比べ耕作放棄地が発生しやすい条件下にある。そのため、当地区では制度を活用した独自の助成措置により草地の更新率向上を図っている。

また、近年の経営規模拡大及び経営主の高齢化等に伴い、労働負担が増大しており、酪農ヘルパー利用組合等の農業支援組織の活用による労働負担の軽減と新規就農者及び農業研修生の研修宿泊施設を整備し安定的な担い手確保を図っている。

多面的機能増進活動については、本集落参加農家によって、町内の小学生を対象とした酪農体験学習を提供し、農業・農村に対する理解促進を深めてもらえるよう活動している。



新規就農者研修宿泊施設外観



酪農体験学習

〔集落の将来像〕

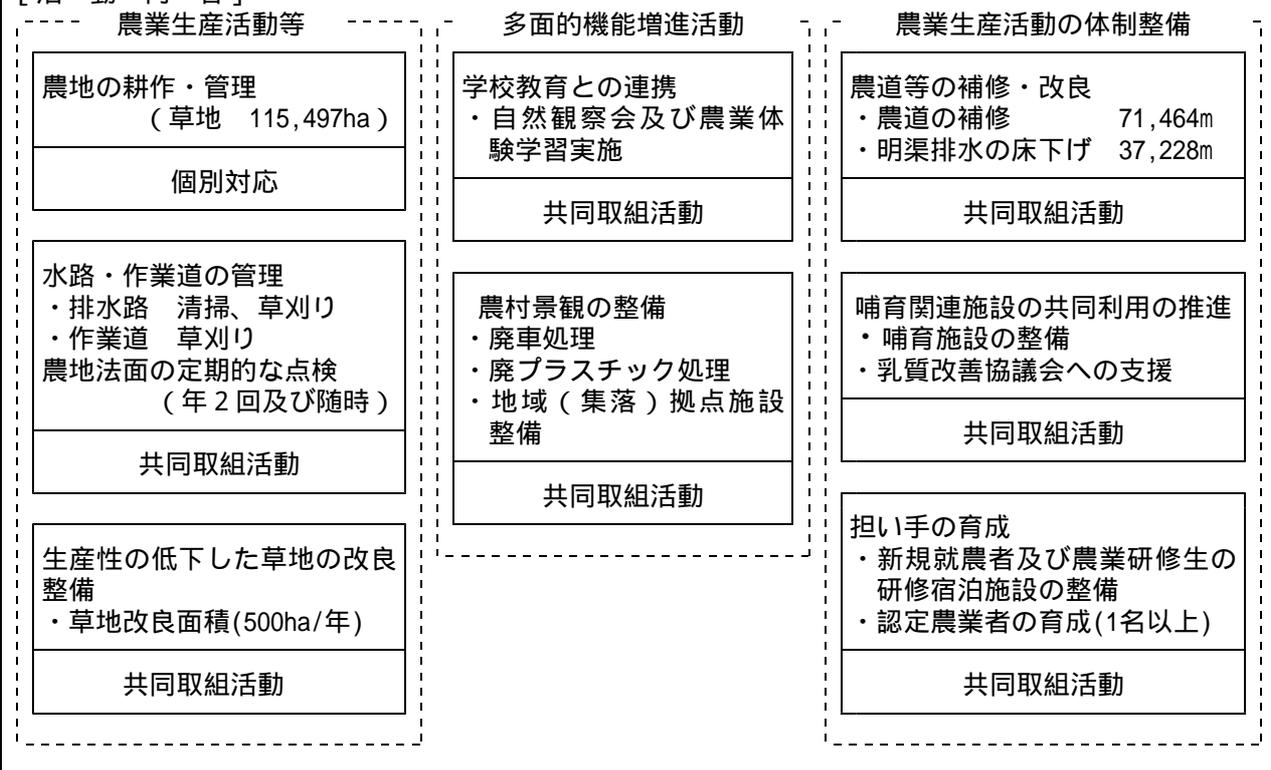
集落ぐるみで農業生産活動の体制を整備することにより、耕作放棄地の発生を防止し将来にわたって自律的かつ継続的な農業生産活動を実現することとし、そのための重点項目として、生産性の低下した草地の改良整備・農業支援組織等の活用による労働負担の軽減を目指し活動の推進を図る。



〔将来像を実現するための活動目標〕

- ・生産性の低下した草地の改良整備
- ・農業支援組織等の活用による労働負担の軽減

〔活動内容〕



4 取組による変化と今後の課題等

生産性の低下した草地については、計画的に目標どおりの草地更新が行われており、生産性の向上につながっている。また、ヘルパー利用組合への助成により、ヘルパーの利用が促進され労働負担の軽減につながっている。

今後の課題としては、草地の半分が泥炭地で形成されているため、計画的に草地整備を進める必要がある。また、更なるヘルパー利用組合の利用促進とヘルパー人員の確保が必要である。このほかに、高齢者及び後継者のいない農家へ向けた農作業等の支援組織について検討が必要と考える。

〔平成20年度までの主な成果〕

生産性の低下した草地の改良整備

(草地改良面積 実績：1,275.9ha / 3年、425.3ha / 年 目標：500ha / 年)

農業支援組織等の活用による労働負担の軽減

酪農ヘルパー利用組合の人員確保等安定的な運営継続に向けた体制整備への支援。

(一戸平均利用日数 実績：23日 / 年 目標：15日 / 年)

(ヘルパー人員の確保 実績：専任9名・補助6名 目標：専任11名・補助5名)